

2-4 本人・家族・支援者の声

「本人・家族・支援者の声」は認知症の支援をされている方々から、日々の生活の中で、認知症のご本人やご家族が話されている言葉を集めたものです。

▶ 本人の声 ◀



好き好んで忘れてるわけではないのよ。教えてもらってもすぐ忘れちゃうけど……。でも、優しく教えてもらえると、とても嬉しいの!!

最近よく忘れるもので……。ちょっとした日記をつけるようにしてます。

誰もわしの気持ちをわかってくれん……。

ちゃんと説明してもらったら、ちゃんということ聞くで。何も説明がないから「何で泊らんといけんのや」と思うんだ。



周りからは「これをしてはダメ、あれをしてはダメ」と言われるけど、まだまだ出来ます。自分でできることは自分でしたいなあ。

自分では、何に困っているんか分からんけど、困っとんだわ。でも、周りに心配や迷惑はかけたくないって思っとんやで。



▶ 家族の声 ◀

本人は、だんだんと地域の人との交流が減っていったけど、区の皆さんには「認知症」を患っていることを伝えました。山道へあがろうとしていた時や帰りが分からなくなっている時には、家に連絡してもらい、本当に助かりました。近所の人も今までと同じように接してくれました。本当に嬉しかったです。

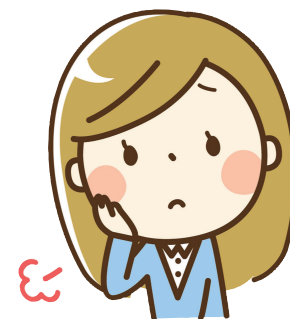
「怒らない」って決めてから半年、トイレ介助中に、妻が初めて「ありがとう」と言ってくれました。ちゃんと伝わっているんだなって思いました。

夫は、若いころからすごくきちんとした真面目な人でした。病気(認知症)になったけど、そこは変わらないです。



今までしっかりしていた家族が変わっていく姿をなかなか受け入れられません。家族が認知症になったということを受け止めるには時間がかかります。

「怒ったらだめ」「叱ったらアカン」って言われるけど……イライラします。



デイサービス利用中の様子を積極的に職員さんに尋ねました。家とは違った姿が聞けて嬉しかったです。



デイサービスを利用するまでは、覇気がなく、寝たきりになると思っていたけど、今は元気に動いているお父さんを見てすごく嬉しいです。出来るだけお父さんの好きにさせてあげたいって思います。家族の会話も増えました。

(認知症の)母がお味噌汁を作ってくれます。時間はかかるけど、いきいきした母の姿を見るのが嬉しいです。これからも続けたいです。

▶ 支援者の声 ◀



ご家族のお話を笑顔でされたり、おやつを「家族のお土産にする」と話されたりされます。ご家族のことを大切に思われているのだなと感じます。

(デイサービスやショートステイの)利用中に、他の利用者さんへひざ掛けを渡される、優しい言葉をかける、嬉しいことを一緒に喜ばれるなど、周りへの気遣いをされる姿に、スタッフも優しい気持ちにさせてもらっています。

認知症の当事者の方は困っていることが言葉で表現が出来ません。近くにいる人が、言葉に出来ないサインに気づいてあげてほしいと思います。

すぐにいい案が出せないこともありますが、いつでも相談をしてください。一緒に考えさせてください。

